

2024年度 事業報告書

特定非営利活動法人 ひらかた環境ネットワーク会議

I 事業実施概要

新型コロナウイルスが5類に変更されて丸2年が経ちました。しかし依然として感染者は後を絶ちません。コロナでは世界中が大騒ぎとなりましたが、地球温暖化が加速することにより、この先未知のウイルスが出てくる危険性があると言われてしています。もしそのようなことになれば、更なるパンデミックが起きることは想像に難くありません。そうした危険性を回避するためにも私たちは一丸となって温暖化対策・二酸化炭素排出削減に向けた取り組みを実践していかなければなりません。

そうしたことから、今年度も温暖化対策に繋がる様々な事業に取り組みました。中でも初めての取り組みとして「枚方から気候変動を考える ひらかたアッチッチサミット」を実施できたことは大きな成果でした。しかしそこで採択された5項目の「市民宣言」を、私たちが実践できてこそ初めて成果と言えることから、しっかりとみんなで取り組んでいきたいと思えます。

また今年2月に開催した「ひらかたエコフォーラム 2025」は、開催場所のアクセスの不便さを課題視する意見もありましたが、前回同等の来場者があり成功裏に終えることができました。以上のように、様々な事業を少しずつではありますが前進させることのできた1年でした。

II 事業の実施に関する事項

【1】特定非営利活動に係る事業

1 地球温暖化対策事業

昨年に引き続き地球温暖化対策事業として、温暖化ミーティングでの話し合いをもとに、次にあげる各事業に取り組んだ。

【対象者】市民、事業者、行政

【予算】508,500円（収入実績：協賛金220,000円）

【支出】423,493円

【協賛】株式会社コマツ、京都信用金庫枚方支店、株式会社ホワイトマックス、大阪ガス株式会社、恩地食品株式会社、関西リサイクルシステムズ株式会社、農園 杉・五兵衛、呼人堂、株式会社たまゆら、枚方自動車教習所、生活協働組合おおさかパルコープ、北村みそ本家、カナデビア株式会社

(1) 温暖化対策推進チームミーティング開催事業

月に一回、市民、行政、事業者で構成されたメンバーが集まり、地球温暖化対策についての事業・取り組みを検討・検証を行った。

＜枚方市地球温暖化対策事業推進チーム会議＞

(2) 「我が家のエコノート」普及事業

事業開始から10年が経過した。エコノートを環境情報コーナーに持参される方との会話から、省エネや環境問題についての様々な意見・考えを聞くことができる一方、取り組み者自身の環境意識向上にもなった。またこうした中で得られた情報を広く発信することで啓発活動に繋がった。

【対象期間】2024年4月1日～2025年3月31日

【受付期間】2024年4月1日～2025年3月31日

【応募総数】参加者数：326名

延べ提出枚数：5,207枚

今年度参加者数：126名（新規参加者：4名） 今年度提出枚数：441枚
今年度配布枚数：約1,200枚

【後援】枚方市

(3) ごみ減量推進事業

① リュースコーナーの管理運営事業

2019年にスタートしたリュースコーナーは順調に利用されている。この取り組みは目に見えてわかりやすく、来訪者から「保育所へ行くので、着替えがいっぱいいるので助かります」「誰かに使ってもらえるなら嬉しいです」等の声を聴くことができ、このコーナーが有効であることが感じられ、提供する側、提供を受ける側、双方にとっていい取り組みになっている。

【対象期間】2024年4月1日～2025年3月31日

【登録者数】449名（新規79名）

【利用者数】今年度556名（累計2,711名）

【利用点数】今年度3,392点（累計14,545点）

② プラごみダイエット推進事業

今年度も「ひらかたみんなでエコ宣言」として“プラスチックを悪者にしない”“減らせるプラスチックは減らす”を基本的考えとし、プラごみダイエットに繋がる5項目を宣言項目に挙げて取り組んだ。

【対象期間】2024年6月～2024年12月31日

【受付期間】2024年7月～2024年12月31日

【応募総数】562名（応募用紙配布数：21,500部）

【共催】枚方市

【後援】枚方市教育委員会

【協力】枚方市地球温暖化対策協議会

(4) エコ行動宣言事業

昨年度同様、今年度も「プラごみダイエット」にかかわる「エコ宣言」として取り組んだ。

(5) CO₂排出削減事業

CO₂削減啓発として、各種環境イベントや五六市会場にて温暖化対策に係るシール張りアンケートを実施した。

2 環境講座開催事業

今年度も環境活動に取り組む市民の輪を広げるため、下記3講座を実施した。

(1) 自然エネルギー普及啓発事業「自然エネルギー学校2024」開講

【予算】100,000円（収入実績：20,000円）

【支出】92,590円

2040年を目途とする「第7次エネルギー基本計画」（2025年2月閣議決定）において、太陽光発電等の再生可能エネルギー発電は、40～50%の役割が示された。この中であって、再生可能エネルギーの重要性、必要性を再認識しなければならないという視点をもって、バス見学会を実施した。また、この機会を利用して「アッチッチサミット宣言の普及・啓発、ゴミ削減等」に係る勉強会も実施した。

【実施日】2025年3月13日（木）

【見学場所】村野浄水場（小水力発電、太陽光発電）

招堤新大池・今池（フロート式太陽光発電）

【勉強会実施場所】 サプリ村野（環境保全研修室）

【参加者】 19名（スタッフ含む）

また、自然エネルギー普及啓発の一環として次の2つにも取り組んだ。

- ① 枚方市地域の事業者や公共施設が導入している「再生可能エネルギー施設」を知ることを通じて、その重要性、必要性を再認識するためのツールとして「ひらかた再生可能エネルギースポットの紹介」パンフ（第1刷）を作成・刊行した。
- ② 市内で開催される「五六市」の会場等を活用し、アンケート調査やパンフレット配布を通じて、市民の方々との「温暖化対策や自然エネルギー普及」に係る意見交換等を計7回実施した。

実施日	アンケート 協力者数	パンフレット 配布数等	実施場所	(備考)
2024年6月9日	31	150	五六市会場	
7月14日	37	200	同上	
10月13日	51	180	同上	
10月20日	30	200	サプリ村野	NPO フェスタ
11月3日	69	エコ宣言の普及	穂谷川清掃工場	環境フェスタひらエコまつり
11月10日	60	エコ宣言の普及	コマツ大阪工場	わくわくケンキフェスティバル
2025年2月15日	30	多数	サプリ村野	エコフォーラム

(2) 環境活動スターター講座の開講事業

環境への関心を持ってもらうきっかけとするためのミニ講座、環境の身近でホットな話題を少し掘り下げておしゃべりしようというスタイルの環境ティールームをそれぞれ、月一回のペースで開講した。

【対象者】 市民・事業者

<環境ミニ講座> 全8回実施 77名参加

実施日時	実施内容	参加者数
2024年6月27日(木)13:30~15:00	エコクラフト「壁掛け七夕飾り」	6
7月25日(木)13:30~15:00	エコクラフト「室外機シェード」	14
8月22日(木)10:00~12:00	「天の川を遊ぼう！」	15
9月26日(木)13:30~15:00	エコクラフト「ボタンでアクセ作り」	12
10月24日(木)9:30~15:00	フィールドワーク「秋の実りを探しに行こう」	4
11月28日(木)13:30~15:00	「新年前の大掃除テクニック」	6
2025年1月23日(木)13:30~15:00	「いろいろ リメイク術」	6
2月27日(木)13:30~15:00	エコクッキング「フルーツ大福作り」	14
合 計		77

<環境ティールーム>

全8回実施 23名参加

実施日時	実施内容	参加者数
2024年 6月13日(木)10:30~12:00	暑さ指数ってご存知ですか?	5
7月11日(木)10:30~12:00	なぜ起きる?出力制限!	4
8月8日(木)10:30~12:00	ピーファスの危険性を考える	5
9月12日(木)10:30~12:00	次世代太陽光発電ペロブスカイトって?	3
10月10日(木)10:30~12:00	地産地消とフードマイレージ	2
11月14日(木)10:30~12:00	二酸化炭素回収技術の今	2
12月12日(木)10:30~12:00	プラスチック資源循環法って	5
2025年 2月13日(木)10:30~12:00	冬の省エネ問題を考えてみよう	3
合 計		29

(3)環境講座「くらわんか塾」開講事業

2023年の世界平均気温が産業革命前に比べ単年度で1.6度上昇したとのニュースが流れた。そうした状況を見たとき、本気で温暖化対策に取り組まなければならないと、「枚方から気候変動を考える～ひらかたアッチッチサミット～」を9月7日(土)に第1回を開催し、その後12月まで、毎月第1土曜日(10:00~12:00)に計4回開催した。

第1回の基調講演に始まり、第2回の枚方市の取り組み報告、そしてそれらを受けたワークショップを実施し、最終回には、温暖化対策として私たちがしなければならないことを5項目の「市民宣言」にまとめ、2月開催のエコフォーラムで発表すると共に、リーフレットを作成し市内公共施設等に設置配布した。

【内実施日】2023年9月7日、10月5日、11月2日、12月7日
(いずれも土曜日、10:30~12:00)

【参加者数】延べ参加者数 100名

【対象者】市民

【予算】66,000円(収入実績:34,900円)

【支出】75,265円

3 中間支援事業

当法人の会員団体をはじめ、会員でない団体の活動支援としてチラシやポスターなどの製作支援や、活動についての相談業務などを行った。また、団体や個人、学校で取り組まれている「エコキャップの回収」支援として、回収されたエコキャップの中間回収拠点の役割を担い、最終受け入れ事業者への搬入を行った。こうした支援をすることで、環境活動の輪を拡げ、環境施策推進へとつなげた。

【予算】68,500円(収入実績:事業収入45,000円)

【支出】44,569円

(1)環境団体活動交流会開催事業

今年度も交流会として単体の取り組みはできなかった。

(2)環境団体活動支援事業

① エコキャップ等回収支援事業

【事業期間】 2024年4月1日～2025年3月31日

【実施場所】 サプリ村野環境情報コーナー および 市内学校・施設など

【対象】 市内全域

【回収量】 個数 39,990個 (取り組み開始からの累計3,923,664個)

重量 93kg (取り組み開始からの累計約9.4t)

【CO₂削減量】 約0.3t (取り組み開始からの累計28.8t)

【運搬回数】 処理業者への運搬2回(軽トラック)(6/25、11/18)

【支援団体・事業所】 楠葉西中学校、招提中学校、桜丘中学校、西牧野小学校、
山田東小学校、枚方高校、京都信用金庫、なごみの里、
サンエス工業株式会社

※山田東小では、エコキャップ回収時に、学校からの依頼により4年生を対象に、プラスチックについて、30分程度の環境講座を行っている。

② 他団体活動支援事業

下記各種団体・個人からの相談業務、部屋の貸出業務をおこなった。また、枚方市民菊人形の会の横断幕や菊花展のポスター・チラシなど印刷物の製作をはじめ、琵琶湖淀川流域圏連携交流会のHP管理・チラシ作成・事務局業務支援を行った。

【支援団体・事業所】

琵琶湖・淀川流域圏連携交流会、NPO法人森林ボランティア竹取物語の会、枚方里山の会、枚方市子育て支援室、ひらかた市民菊人形の会、枚方市菊花展実行委員会、いきもの調査会、里親支援機関おひさま、一般財団法人環境事業協会、琵琶湖・淀川・大阪湾流域圏シンポジウム実行委員会、琵琶湖・淀川流域圏河川フォーラム実行委員会、株式会社エコスタイル

※ 今年度サプリ村野で開催されている「2回目の小学校」で、SDGsの講座を依頼され2コマ実施した。(9月13日・参加者：50名)

4 ひらかたエコフォーラム開催事業

サプリ村野での開催が3回目となった。昨年はひらエコ祭りで行われた「緑のカーテン表彰」や恒例の「環境表彰」「我が家のエコノート継続認定」「エコ宣言当選者発表」、そして温暖化対策の取り組みの報告を行った。中でもサミットで採択した「市民宣言」5項目の発表と早川氏のお話を聞いてもらうことで、温暖化をこれ以上進ませないために、私たちは何をしなければならぬのかを考え感じてもらうことができたのは大きな成果であった。

一方各ブースでは、それぞれの活動や取り組み等について、パネルやモデルを用いて紹介した。併せて、自転車発電による省エネ比較やエコドライブなど、体験を通じて理解が得られる工夫も行なうことで、多くの方に活動や取り組みを知ってもらいまたエネルギー等への理解が得られる場となった。一方ブースラリーでは、クイズを通して楽しみながら環境について考え、知ってもらう機会にもなった。加えて、当団体で行った温暖化に関する「シール貼りアンケート」では、直接参加者の声を聴く機会にもなり、実態を知ることができた。

【開催日時】 2025年2月15日(土)10:00～13:00

【会場】 サプリ村野

【来場者数】 約250人

【共催】 NPO法人ひらかた環境ネットワーク会議、枚方市

【協 賛】株式会社コマツ、京都信用金庫枚方支店、株式会社ホワイトマックス、大阪ガス株式会社、恩地食品株式会社、関西リサイクルシステムズ株式会社、農園 杉・五兵衛、呼人堂、株式会社たまゆら、枚方自動車教習所、生活協働組合おおさかパルコープ、北村みそ本家、カナデビア株式会社

【対 象 者】市民、事業者、行政

【出展団体】天の川を清流にする会、関西リサイクルシステムズ株式会社、NPO 法人森林ボランティア竹取物語の会、淀川管内河川レンジャー、NPO 法人ひらかた環境ネットワーク会議

【予 算】200,000 円

【支 出】192,442 円

5 環境情報コーナーの運営等業務委託事業

本年度も契約書記載の仕様書通りの業務内容を滞りなく行った。

【予 算】265,000 円（収入実績：委託料 314,500 円 但し人件費は除く）

【支 出】170,049 円

(1) 環境情報コーナーの管理運営事業

仕様書通り、管理運営業務を滞りなく行うことができた。特にリユースコーナーは今年度の新規登録者が 76 名あり、総登録者数は 449 人となった。また、環境情報の発信ツールも新しく作成するとともに、楽しんで環境が学べるクイズ BOX の内容もリニューアルするなど環境意識の向上を目指し啓発に努めている、

【事業期間】2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

【実施場所】サプリ村野南館 2F 環境情報コーナー 環境保全研修室

【対 象 者】市民、活動団体、事業者

【環境情報コーナー各種利用状況】（2024 年 3 月末現在）

	延べ利用数
環境情報コーナー	大人 2246 人 子ども 1270 人 計 3516 人
環境保全研修室	86 回 1335 人
エコドライブシュミレーター	34 回
省エネナビ貸出	7 台貸し出し中

(2) 緑のカーテン事業・ゴーヤの苗配布事業

毎年実施している 枚方市の「緑のカーテンモニター」の受付、苗の配布および報告書回収業務を今年度も請け負った。今年の参加者は 169 名。苗を各 4 株配布し、8 月にその報告書の回収業務を行った。併せて、「MY ゴーヤづくり」をサプリ村野で実施し、緑のカーテン作りを体験する機会を設け、普及に努めると共に、環境情報コーナーの周知及び環境に関心を持ってもらう機会とした。「MY ゴーヤづくり」では 2 週間に一度のお世話活動を通して、参加者同士の交流が深まった。また、世話活動終了後に、その折々に話題となっている環境問題や環境関連のニュースについて、15 分程度、話をさせていただき、意見交流も行うことで参加者の環境意識啓発とする機会にもなった。

【事業期間】2024 年 5 月～2024 年 10 月

【実施場所】 サプリ村野南館 2F 環境情報コーナー 環境保全研修室

【対象者】 市民

- ・緑のカーテンモニター：参加者 169 名、 報告書提出枚数：115 枚
- ・MY ゴーヤ登録者：11 名、 活動回数：10 回、 延べ参加者数：74 名

6 総会及び会員交流会等開催事業

予定通り総会を開催。議案はすべて承認された。総会後に会員交流会を行った。

《通常総会》

【開催日】 2024 年 5 月 25 日（土）

【場所】 サプリ村野南館 2 階 環境保全研修室

【内容】 令和 6 年(2024 年)度通常総会 10：30～11：05

出席者数：46 名/正会員数：72 名（本人 21 名、委任状 20 名、議決権行使書 5 名）

議 題：第 1 号議案 役員選任に関する件

第 2 号議案 2023 年度事業報告書案承認の件

第 3 号議案 2023 年度活動計算書案承認の件

第 4 号議案 2024 年度事業計画書案承認の件

第 5 号議案 2024 年度活動予算書案承認の件

【対象者】 会員

【予算】 30,000 円

【支出】 23,954 円

7 広報事業

広報事業として会報誌を発行、HP の管理運用に加え、インターネットの情報ツール等を活用し、情報発信を行った。

【予算】 280,000 円

【支出】 298,084 円

(1) 会報誌「環境ひらかた」発行事業

今年度も遅滞なく年 4 回発行できた。この会報誌は、当団体の取り組みや活動、環境の課題等をわかりやすく発信するため毎号工夫を凝らして作成している。会員や会員以外の関係団体・事業者にも配布するとともに、生涯学習市民センター・図書館等公共施設にも設置・配布し、広く市民の方にも読んでいただけるようにしている。

【発行部数】 3,200 部(A4 版 8 ページ、全面カラー刷り)

No.81 春号 2024 年 4 月 1 日発行 700 部配布

No.82 夏号 2024 年 7 月 1 日発行 900 部配布

No.83 秋号 2024 年 10 月 1 日発行 800 部配布

No.84 冬号 2025 年 1 月 1 日発行 800 部配布

【対象者】 会員、市民、事業者

(2) HP の管理運営事業

講座のお知らせや活動報告を中心に日々更新を行っている。

【アクセス数】 19,061 件 (昨年 18,672 件)

【対象者】 会員、市民、事業者

(3) その他の広報活動

NPO フェスタや五六市、コマツフェスティバルに参加し、当法人や、カーボンニュートラル、プラごみダイエットについてのPR活動を行った。

《情報紙・WEB掲載》

情報誌：枚方市広報

WEB(インターネット上の情報サイト)掲載：枚方市公式FB

《街宣・他団体主催によるイベント参加》

五六市、コマツフェスティバル、NPO フェスタ、ひらエコ祭り

8 モビリティ・マネジメント事業

“モビリティ”すなわち、“移動”の状況（移動手段等）が、個人にも社会にも「環境に負荷をかけない」など、望ましい方向に向くよう、そしてそれが自発的・主体的に行われることをめざし、それらを促す取り組みとして下記の事業を行った。

【予算】 800,000円（収入実績：事業収入 1,242,840円）

【支出】 968,928円

(1) 「ひらかた交通タウンマップ」作製配布事業

公共交通情報を伝える事で、公共交通の利用促進を図り、車社会がもたらす環境負荷を少しでも減らすことを目的に、今年も転入者向けに「ひらかた交通タウンマップ」を配布した。このマップの裏面には、電車やバスのお得で便利な利用方法をわかりやすく解説しており、転入者に限らず広く市民に役立つものとなっている。そのため、転入者以外にもマップを希望する人も多く、要望に応え図書館や環境情報コーナーにも設置し、希望者には随時無料でお渡しした。また、枚方市駅構内にも随時配架してもらえた。

更に交通タウンマップの普及促進の取り組みとして、転入者以外の方にも積極的に活用をお知らせすると共に、今年度は、市内の小学3年の全児童(約3,500名)にマップを授業でも使ってもらうことを目的に配布した。また後日活用についてのアンケートも行った。

【対象者】 市民

【内容】 マップの更新3回11,000部【10月：1,000部発行（内訳：枚方市1,000）、12月：2,000部発行（内訳：枚方市2,000部）、3月：8,000部発行（内訳：枚方市7,000部、環境ネット1,000部）】 A1版A4仕上げ カラー両面刷り

(2) 公共交通利用促進事業

① 「第34回 バス！のってスタンプラリー ひらかた万博」の実施

未来にも環境にやさしい公共交通が私達の足として存続し、まちの活性化を維持できる社会の実現のため、公共交通利用促進施策として実施。そのために、まず乗り方を学ぶ機会の提供として本事業を実施した。アンケートでは今後バスを利用したいという声が多く寄せられ取り組みの効果が見て取れた。また枚方市の地域魅力発信の一助ともなるようスイーツをテーマにしたが、参加者に好評であった。

【対象者】 市民

【開催日時】 2024年10月5日（土）8:30～16:00

【参加者数】 183人（大人117 小児45 幼児21）

【共催】 枚方市、京阪バス株式会社

【協力】

<スタンプポイント>

交北公園、山田神社、MAHALO KOBO、肉のもりおか、呼人堂、うつわとカフェ Lau、市立枚方宿伴屋資料館、ガーデナーズカフェ、天門美術館、雀躍堂、Café Flag、FROSCHE、尊延寺、乗馬クラブクレイン学研枚方、里山四季菜 紫麻、三之宮神社

<景品協力>

Mizkan、ブルミッシュ、雀躍堂、天門美術館、うつわとカフェ Lau、ガーデナーズカフェ、枚方市文化観光協会、京阪バス

②「ひらかた交通すごろく」の活用

スタンプラリー会場で、13時～15時の2時間、実施した。また氷室小学校での出前授業で活用された。

9 まちづくり推進事業

まちづくり事業「歴史文化遺産の保存と活用事業」として環境スターター講座と連携し、市内まち歩きやフォトコンテストなどが実施される予定であったが、諸般の事情によりされなかった。

【予 算】 0円（収入実績：円）

【支 出】 0円

10 環境教育推進事業

環境教育部会では「環境意識の醸成は子供のころからの環境教育が重要」との思いで、毎月定例会を開催し、どのような事業・取り組みをすればいいのかについて話し合った。併せて、部会員との情報及び意識共有も図った。一方これまで部会員の創意と工夫を結集して、継続的に環境出前授業を行ってきたが、今年度から蹉跎西小学校のエコクラブがなくなったことで、出前授業先が激減すると共に、蹉跎西小学校の「枚方市学校支援社会人等指導者活用事業」が無くなったことで、唯一の収入源もなくなった。

【予 算】 80,000円（収入実績：事業収入 231,882円）

【支 出】 121,258円

(1) 環境出前事業の実施

今年度依頼のあった桜丘北小学校のオープンスクールでの「酸性雨について学ぼう」では、新たな講師の登用に伴い、授業原稿、実験機材の準備、併せてリハーサルもして本番に臨んだ。結果、児童と父母の方にも環境問題を知ってもらう良い機会となった。氷室小での出前授業は「交通すごろく」を使って事務局の協力を得て実施した。

【実施校等】 10月18日：氷室小学校、11月22日：桜丘北小学校

【実施件数】 2件 ※昨年までの蹉跎西小学校のエコクラブがなくなり、予定の8件がなくなった。

【実施時限数】 4時限

【派遣人員】 延べ6名（昨年：延べ43名）

【対象者】 小学校児童：4クラス92名（昨年：11クラス 延べ243名）

※桜丘北小学校6年2クラス（27+26名）、
氷室小学校4年2クラス（20+19名）

【実施テーマ】 ①「酸性雨について学ぼう」：1件（桜丘北小学校）

②「交通すごろく」：1件（氷室小学校）

※上記②氷室小学校の「交通すごろく」は、今回は事務局（1名）で対応。

(2) 環境啓発・環境教育ツール作成事業

これまで蓄積した環境出前授業のメニュー冊子を逐次見直し、新学期には枚方市の小学校 44 校へ新たなメニュー冊子を配布した。

一方、部会員自らも、環境教育の知識と分かりやすく伝えるノウハウの習得や、各自のスキルや特技を活かして楽しい活動になるように努めてきた。

その結果、新たに「酸性雨」のメニューを開発したり、枚方市主催の自然観察会の講師・スタッフを務めたり、環境情報コーナーの「環境クイズボックス」の製作などにも貢献できた。

(3) 夏休み親子環境講座の実施

4 歳以上の親子を対象にカードを使って料理に必要なエネルギーについて学ぶ「バーチャルクッキング」と「ソーラーミニカー工作」を通してエネルギーについて学ぶ講座を下記の日程で開催した。「バーチャルクッキング」では、フードマイレージについて知ってもらうことで、地産地消が温暖化対策に繋がっていることに気付いてもらうきっかけになった。また「ソーラーミニカー工作」では、太陽光発電を体感してもらうと共に、その他の再生可能エネルギーについても触れる機会を設けることでエネルギーへの関心が高まった。

【対象】4 歳以上の親子

【実施日】「バーチャルクッキング」：7 月 21 日(日)、8 月 3 日(土)、8 月 17 日(土)、
「ソーラーミニカー工作」：7 月 28 日(日)、8 月 4 日(日)、8 月 18 日(日)

【参加者】延べ 184 名

(4) 全体事業への積極参加

NPO 全体の環境啓発活動へ積極的に参加すると共に、毎週月曜日には、環境情報コーナーでの環境啓発をおこなった。

またエコフォーラムでは、自転車発電やエコドライブなどで、体験を通してエネルギーや環境についての理解促進に努めた。さらに公共交通部会主催の「バス！のってスタンプラリー」ではスタッフとして協力した。

11. 人材育成事業

【予算】10,000 円 (収入実績：0 円)

【支出】0 円

(1) インターンシップ受け入れ事業

今年度も夏休み、春休みそれぞれ 10 日間 (70 時間) インターンシップとして大学生を受け入れた。最初に「NPO 法人とは」「環境問題とは」を学んでもらい、次に、様々な環境問題から、自分たちの関心があること、或は取り上げてみたい問題をインターン生全員で話し合っ
て決め、その問題について調べ、話し合い、掘り下げていくという事を重ね、環境啓発に関する企画書づくりに挑戦してもらった。その他、講座や会議に参加し、会議運営を体験し、講座で実際に市民と話をする機会も設けた。これらの体験を通し環境への関心を高め、それを広げていく方法を学んでもらった。その成果として、情報コーナーで子どもたちがいつでも体験できるクイズ BOX や、夏休みの親子ミニ講座の企画がある。

【対象】大学生

【期間】2024 年 8 月～9 月、2025 年 2 月～3 月 それぞれ約 10 日

【受入数】夏休み期間 ドットジェーピーより 3 名

春休み期間 ドットジェーピーより 6 名、関西外国語大学より 1 名

(2) インターンシップ生フォローアップ事業

- ・2月のミニ講座「フルーツ大福づくり」には4名のインターン生が、また3月の「自然エネルギー学校」には7名全員が参加した。その後の振り返りで気づきや今後に生かせること等を話し合ってもらった。
- ・インターンシップ終了後の、ドットジェーピースタッフとの振り返り交流で、インターン生へのメッセージを送り、引き続き環境問題への意識継続をうながした。

13 その他

① 会員数

<2025年3月31日現在の会員数　カッコ内は昨年同時期の会員数>

	正会員	賛助会員	計
個人	56 (60)	40 (46)	96 (106)
非営利団体	14 (15)	3 (3)	17 (18)
営利団体	2 (2)	0 (0)	2 (2)
合計	72 (77)	43 (49)	115 (126)

②令和6年度理事会の開催

◎第1回理事会

日　　時：2024年5月8日(水)　10:30～12:05

場　　所：サプリ村野　環境保全研修室

理事総数：13名

出席者数：13名（本人出席9名、委任状出席4名、議決権行使書0名）

議　　題：第1号議案　役員候補者の選任に関する件
第2号議案　運営委員任命の件
第3号議案　2023年度事業報告書(案)承認の件
第4号議案　2023年度活動計算書(案)承認の件
第5号議案　2024年度事業計画書(案)承認の件
第6号議案　2024年度活動予算書(案)承認の件

◎第2回理事会

日　　時：2024年5月25日(土)　11:05～12:15

場　　所：サプリ村野　環境保全研修室

理事総数：13名

出席者数：12名（本人出席10名、委任状出席2名、議決権行使書出席0名）

議　　題：第1号議案　理事長及び副理事長の選任に関する件

◎第3回理事会

日　　時：2024年11月11日(月)　10:30～11:40

場　　所：サプリ村野　環境保全研修室

理事総数：12名

出席者数：11名（本人出席8名、委任状出席3名、欠席1名）

議　　題：中間事業報告

上期予算執行状況報告

③運営委員会の開催

各部会間の情報共有を図ると共に、団体としての事業の円滑な遂行を図るため、毎月1回約2時間の会議を計11回開催した。(但し5月は除く)

⑤その他参加したミーティング

- ◎琵琶湖淀川流域圏連携交流会 幹事会(丸井)
- ◎琵琶湖・淀川流域圏河川フォーラム実行委員会(丸井)
- ◎琵琶湖・淀川・大阪湾流域圏シンポジウム実行委員会(丸井)
- ◎河川協力団体意見交流会(丸井)

⑥団体・審議会等への派遣

- ◎枚方市環境審議会
期 間：2024年4月～2025年3月 派 遣：委員として1名(豊高)
- ◎枚方なぎさ高等学校学校協議会
期 間：2024年4月～2025年3月 派 遣：委員として1名(阪口)
- ◎枚方市食育推進ネットワーク会議
期 間：2024年4月～2025年3月 派 遣：委員として1名(田中)

【2】. 収益事業 該当なし